

## B—43 長針短針による運針の速度および質の比較研究

東京家政大 斎藤 トシ

1. 現在および将来の家庭内における裁縫の分野は、衣生活の変化と既成品の進出によって、非常に縮小されると共に、能率的、効果的、意義的、であることを要求される傾向にある。

この故に技術の革新その他、多くの問題が存するが、私達はまず運針に用いる針について、長針と短針の被服工作におよぼす時間的（速さ）、効果的（質）の面を比較研究して結論をえようところみた。

2. 以上の目的のもとにわれわれの衣料に普通に用いられる木綿の薄地、厚地および絹布の3種を用いて、短大入学者が初めて和服形の工作の学習をするに先立って実施した。

3. 実験の結果、いずれの布においても、短針を用いた場合より長針を用いた方が速さにおいてより効果的であった。